

2025 年 11 月 26 日

名古屋市長 広沢一郎 様

相生山の自然を守る会
相生山の四季を歩く会
プロジェクト相生山
ラブリーアース J a p a n
相生山緑地を考える市民の会
連絡先：090-6337-1917（野田）

市道弥富相生山線についての発言を撤回されるよう求めます

11 月 21 日、市議会本会議の個人質問への答弁にて、市長は一方的に工事の早期再開を目指す考えを明らかにされました。私たちは大きな失望と憤りをもって抗議し、すみやかな発言撤回を求めるものです。

都市計画決定以降 68 年も経っているのに未だに意見の合意に至らないこと自体が、この計画の問題点と情勢の変化を示しています。河村前市長は、2010 年名古屋で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（C O P 10）を受けて工事を中止、「これまで産業優先で道路をばかばかつくってきた名古屋の街に自然を大事にしようという精神でいこうと、それが根本」（2014. 12. 26）と計画廃止を表明されました。

広沢市長はマニフェストで「河村市政を継承する」と述べ市長になりました。今回の表明によって、相生山緑地の生態系は間違いなく破壊されます。地域には新たな渋滞や被害が予測され、周辺住民はたいへん心配しています。

自然を一旦破壊したら、元には戻りません。相生山緑地は大都会名古屋にとって宝であり、未来の市民に残さなければならない財産です。温暖化を緩和する気候変動対策が喫緊の課題である今、市は「名古屋市地球温暖化対策実行計画 2030」を作成して「緑を増やそう」と施策を進めています。市長の意思は真逆ではないでしょうか。

環境破壊を進める「弥富相生山線整備工事再開」方針の撤回を求めます。

以上